

第3学年音楽科学習指導案

日 時 平成20年11月13日(木) 5校時
場 所 第2音楽室
学 級 大槌町立大槌中学校3年4組
(男子14名 女子16名 計30名)
指導者 教諭 中野勝之

- 1 題材名 「合唱の表現を楽しもう」
主教材 混声三部合唱「名づけられた葉」
混声四部合唱「海はなかった」
混声四部合唱「ジェリコの戦い」

2 題材について

(1) 教材観

本題材は、中学校学習指導要領の第2学年及び第3学年のキ「音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きを理解して表現を工夫すること。」のうち、リズムに焦点を当てて指導していきたい。

「ジェリコの戦い」はリズムカルで、得に「ジェリッコー」と歌う部分はシンコペーションであり、この曲の特徴的な部分である。このリズムの特徴を生かすことで、「ジェリコの戦い」の躍動感が表現できる。この特徴的なリズムを感じ取らせ、表現に結びつけていきたい。

(2) 生徒観

歌うことは好きな生徒達である。合唱においては昨年度、校内合唱コンクールで最優秀を受賞した学級である。合唱の表現では、ハーモニーや強弱、言葉を意識して表現することはしてきているが、リズムを生かす表現はあまり意識していない。また、基本的なリズム譜の読み方はできない生徒が多い。読譜力もつけさせたいが、まず、リズムの特徴を感じ取り、それを表現できる生徒を育成したい。

(3) 指導観

これまでの合唱指導は、教師主導で教え込みによる音楽づくりの部分が多かった。しかし、それでは生徒の自主性や感性豊かな発想が生かされない。なるべく生徒自身が考えて表現を作り出せるよう支援していきたい。本教材においては感覚的にはリズムの躍動感をとらえることはできると予想しているが、具体的な表現の工夫となると不安な部分もある。補助発問や、場合によっては教師が手助けをして特徴的なリズムが表現できるよう指導していきたい。

3. 題材目標

- (1) 【関心・意欲・態度】 楽曲構成に興味をもち、歌唱表現に意欲的に取り組む。
(2) 【感受・工夫】 曲想を感じ取り、表現の工夫をする。
(3) 【表現の技能】 曲想を生かした表現をする。

4. 題材の指導計画と評価規準

(1) 指導計画

- ①それぞれのパートの音程をとることができる。・・・・・・・・・・ 4 時間
- ②強弱に気をつけて表現をすることができる。・・・・・・・・・・ 2 時間
- ③ハーモニーを意識しながら表現をすることができる。・・・・・・・・ 1 時間
- ④歌詞の意味を考えて表現をすることができる。・・・・・・・・・・ 1 時間
- ⑤まとめの合唱づくり。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間
- ⑥リズムを生かした合唱づくり。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間 (本時)

(2) 評価規準

学習内容	評価基準			
	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
①それぞれのパートの音程をとることができる。	・各声部の特徴と役割に関心をもっている。		・各声部の特徴を役割に気を付けて合唱表現をする技能を身に付けている。	
②強弱に気をつけて表現をすることができる。		・強弱の働きを知覚し、それらの効果を感じ取って表現を工夫している。		
③ハーモニーを意識しながら表現をすることができる。			・声部の役割と全体の響きに気を付けて合唱表現をする技能を身に付けている。	
④歌詞の意味を考えて表現をすることができる。		・歌詞の意味、背景にある情景や心情、歌詞の構成を感じ取り、自己のイメージや感情をふくらませて歌唱表現を工夫している。		
⑤まとめの合唱づくり。	・歌詞の内容や曲想、曲種に応じた発声や言葉の表現、声部の役割と全体の響きに関心を持ち、歌唱や合唱の表現をするこ			

	とに意欲的である。			
⑥リズムを生かした合唱づくり。		・リズムの特徴を生かし、表現を工夫することができる		

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・リズムの特徴を感じ取って生き生きと表現することができる。

(2) 本時の評価

観点	評価規準	具体の評価基準		
		A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	C：努力を要する生徒への支援
感受	・リズムの特徴を生かし、表現を工夫することができる	・自らリズムの特徴を生かし、アクセントやスタッカートをつけるなど、リズムを生き生きと表現することができる。	・自らリズムの特徴を生かし、アクセントやスタッカートをつけることはできるが自信をもって表現するまでにはいたらない。	・パートリーダーや上手に表現できる生徒が手本を示す。 ・場合によっては教師が手本を示す。

(3) 構想および個に応じた指導の工夫点

評価シートを授業の初めに用いることで、学習規律が守られているか確認をさせるとともに、課題を把握させる。また、授業の終わりに本時の取り組みを自己評価することで、振り返りを図る。

また、グループ学習を取り入れることで、より、個に焦点を当てた指導、援助をしていきたい。

(4) 展開

過程	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 【 方 法 】 支 援 の 手 だ て
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・「ジェリコの戦い」の合唱をする ・評価シートを配布 ・学習プリントの配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからないパートがあれば音の確認 ・机間巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価シート【記述】
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">リズムの特徴を感じ取って生き生きと表現しよう</div>			
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴的なリズムを聴き取り、プリントに記入する ・シンコペーションを生かす工夫を考え、プリントに記入する ・パートごとに別れ、表現を工夫する ・パートごとに発表し、相互評価をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム譜で表現できない場合は言葉でも良いこととする ・〇〇な感じなど、音楽用語以外の表現でも良いこととする ・進行がうまくいかない場合は助言をする ・発表しやすい雰囲気作りに心がける 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムの特徴を生かし、表現を工夫する【観察】 ・Cの生徒には上手にできる生徒や先生が手本を見せる
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの合唱 ・評価シートの記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現を生かそうとする合唱になるよう声かけをする ・机間巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価シート【記述】

リズムの特徴を感じ取って生き生きと表現しよう

1. 特徴的なリズムを聴き取ろう

音符で表現しよう（タン、タタなどの言葉や歌詞でもOK）

2. リズムの特徴を生かす工夫

どのように歌ったら効果的か？

3. 発表してみて（リズムの表現は？）

自分達の発表

他の発表を聴いて

4. 感想